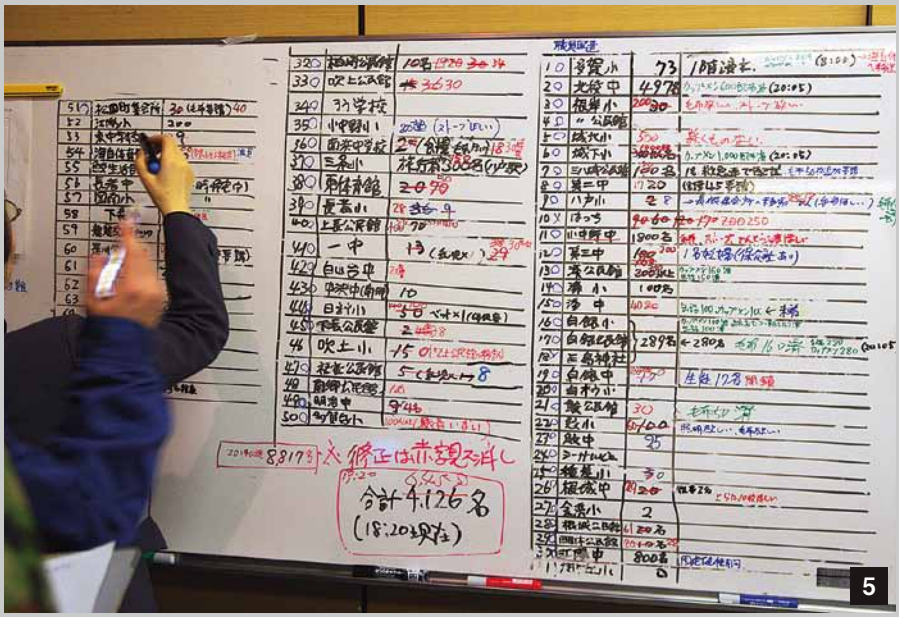
発災直後～復旧

災害対策本部

1／市庁別館2階に設置された災害対策本部
2・3・4／災害対策本部では情報収集や関係機関との連絡、市民からの問合せなどの対応に追われた
また、自衛隊などの関係機関からの連絡員も派遣された
（3、4の写真提供：陸上自衛隊八戸駐屯地）

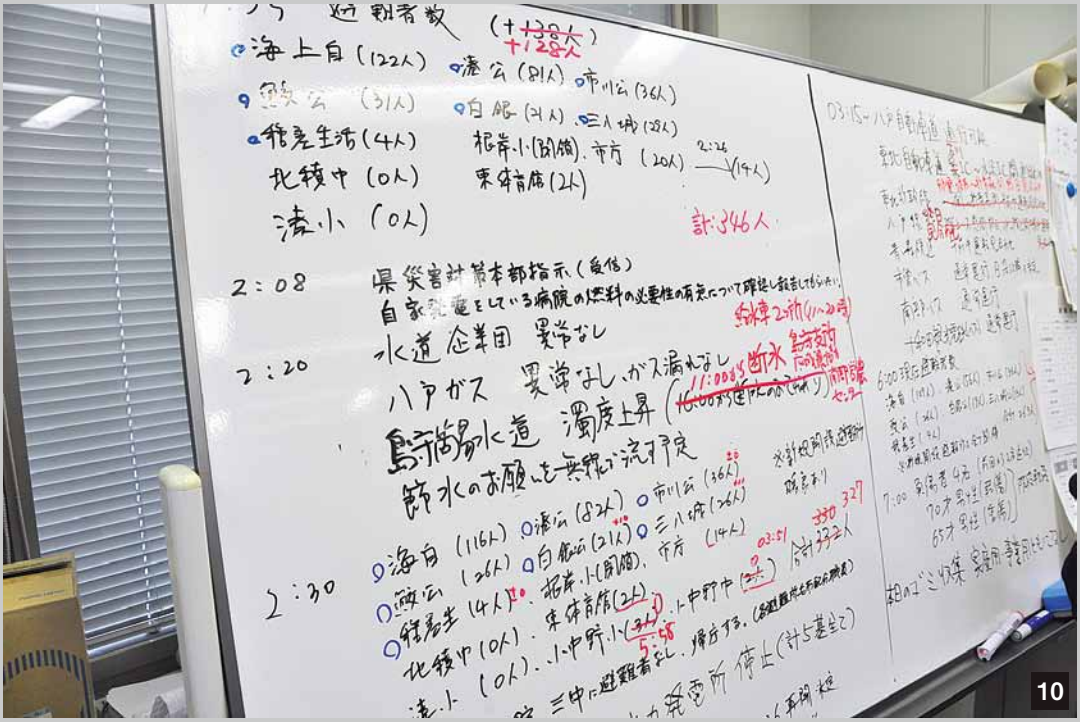


5／発災直後の避難所の状況を記したホワイトボード
電話がつながりにくく、情報が錯そうするなど避難所の状況把握は困難を極めた
6／震災当日の3月11日に災害対策本部を訪れた青山副知事と状況を報告する市長

7・8／災害対策本部員会議の様子
市内の被害状況が報告され、本部長である市長から被災者支援、被害状況把握などに関することが指示された

9・10／4月7日の最大余震の際の災害対策本部の様子

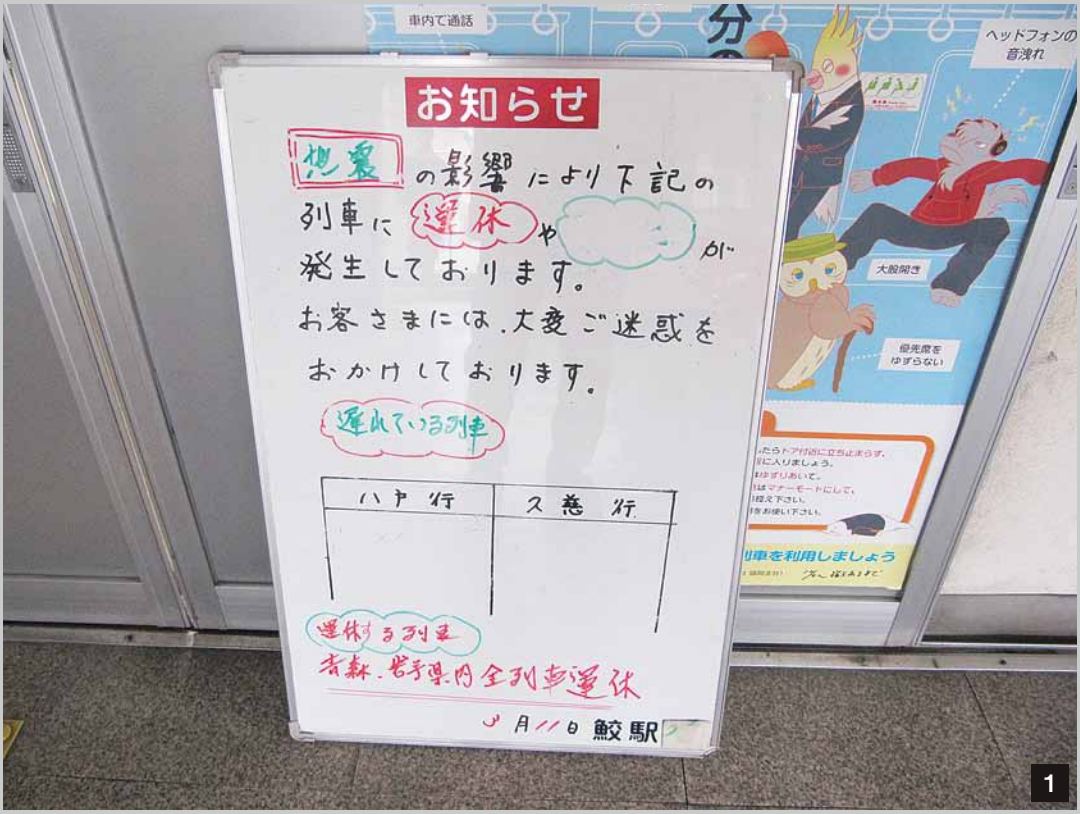
11／平成24年1月17日に災害対策本部の看板を外す市長
震災から10か月が経過し、市内の被害額が判明し応急復旧に一定の目処がついたことから災害対策本部が廃止された



10

11

市内の様子


車内で通話
ヘッドフォンの音洩れ
お知らせ
想定の影響により下記の列車に運休や が発生しております。
お客さまには、大変ご迷惑をおかけしております。
遅れている列車
ハヤ行
久慈行
運休する列車
青森、岩手県内全列車運休
3月11日 鮫駅
大股開き
優先席をゆずらない
車を利用しましょう

1

宅急便
4WD

2

1／列車の運休を伝える鮫駅の看板
（平成23年3月11日15時33分頃撮影
写真提供：磯島富雄氏）
2／地震発生から約1時間後の鮫駅周辺の様子。停電のため信号機が消えている
（平成23年3月11日15時39分頃撮影
写真提供：磯島富雄氏）
3・4／地震発生直後の中心街の様子
（平成23年3月11日撮影）
5／地震発生翌日の夜の中心街の様子
電力が復旧せず、車の明かりだけが光る
（平成23年3月12日18時56分頃撮影）
6／震災により燃料が供給不足となり、ガソリンスタンドには乗用車の燃料を求める長い列ができた
（平成23年3月20日撮影）

市庁の避難者の様子

1／市庁1階ロビーで大津波警報の発表を伝えるニュースを見つめる人々（平成23年3月11日15時58分頃撮影）
2・3／地震発生直後、市庁前市民広場に避難する人々（平成23年3月11日15時20分頃撮影）
4／相次ぐ余震の恐怖にしゃがみこむ高校生（平成23年3月11日15時30分頃撮影）
5・6・7／指定避難所ではないが、震災当日の夜は市庁にも避難者が集まり不安な夜を過ごした（平成23年3月12日午前4時頃撮影）

5

6

7

避難所

1・2／地震発生当日の避難所（三条小学校体育館）の様子
　　停電で真っ暗な中、ストーブの周りに集まり暖をとった（平成23年3月11日19時30分頃撮影　写真提供：山之内裕氏）
3／地震発生から2回目の夜を迎えた三条小学校体育館の様子（平成23年3月13日午前4時20分頃撮影　写真提供：山之内裕氏）
4／地域の住民による炊き出しの様子（吹上公民館）（平成23年3月12日撮影）
5・6／震災から約1か月後の避難所（市川公民館）の様子（平成23年4月4日撮影）

陸上自衛隊の活動

1・2／陸上自衛隊による炊き出しの様子（平成23年3月12日撮影　写真提供：陸上自衛隊八戸駐屯地）
3・4／八戸市から他の被災地へ支援物資を届けるための積み込み作業
積み込まれた物資は釜石市など、より被害が甚大な被災地へ届けられた
（平成23年3月16日、30日撮影　写真提供：陸上自衛隊八戸駐屯地）
5・6／自衛隊による道路の瓦礫の撤去作業の様子（写真提供：陸上自衛隊八戸駐屯地）

海上自衛隊の活動

1

2

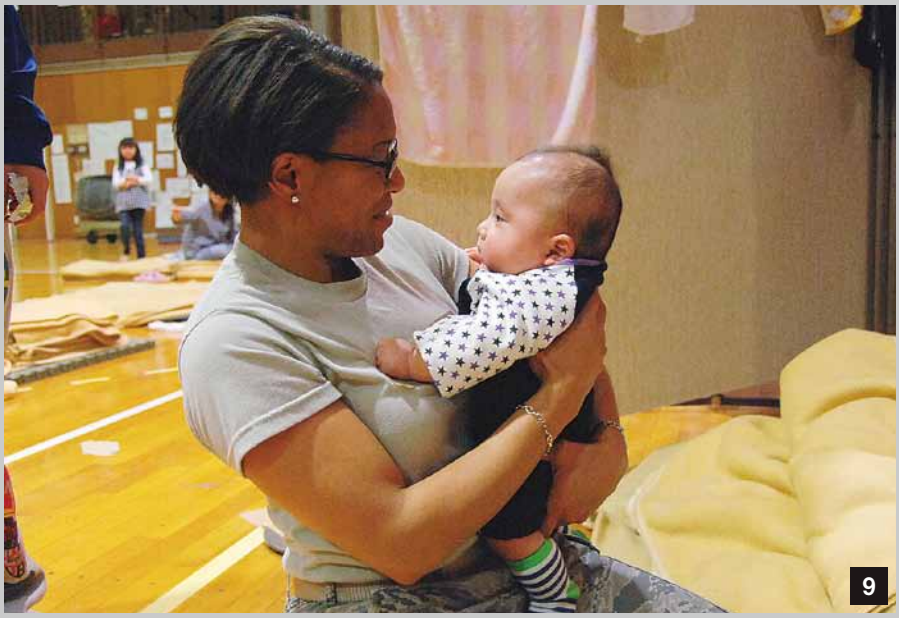
1・2・3／地球深部探査船「ちきゅう」からの中居林小学校の児童の救出の様子
特別公開のため乗船中に津波警報が発表され、児童は一晩船内で過ごすこととなり、翌日海上自衛隊のヘリコプターで救出された
（平成23年3月12日撮影　写真提供：海上自衛隊八戸航空基地）

4・5／海上自衛隊体育館の様子
応急的に避難者を受け入れたもので、ピーク時には約1,000人が避難した
（写真提供：海上自衛隊八戸航空基地）

3

4

6・7・8／
海上自衛隊によって、給食、通学、入浴、診療、メンタルケア支援など被災者のために様々な支援が実施された（写真提供：海上自衛隊八戸航空基地）



9・10／
米軍医療支援チームによる被災者の診察の様子
（写真提供：海上自衛隊八戸航空基地）
11／
平成23年4月18日に行われた海上自衛隊体育館避難所の閉所式の様子
地震発生当日の3月11日から4月18日までの間に延べ約6,000名の被災者が支援を受けた
（平成23年4月18日撮影　写真提供：海上自衛隊八戸航空基地）
12／
閉所式で握手を交わす眞木群司令と小林市長

13・14・15・16／市川と新湊での海上自衛隊機動施設隊による瓦礫の撤去作業の様子
（写真提供：海上自衛隊八戸航空基地）

米軍による支援

1・2／
ハサップ対応型荷捌き施設（A 棟）で土砂の撤去を行う三沢空軍基地アメリカ赤十字ボランティア
3・4・5／
市川地区のいちご農家のビニールハウスの解体・撤去作業の様子
三沢空軍基地アメリカ赤十字ボランティアの作業は兵士だけでなく、家族や基地の従業員等も参加して行われた

4

5

救援物資
高校生ボランティア

1

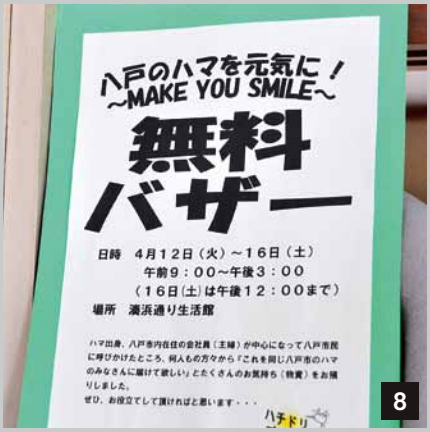
2

3

4

5

1／震災直後に市庁に届いた救援物資
2／群馬県伊勢崎市から届いた災害救助用毛布
3・4／震災から1か月後の物資集積所の様子
全国各地から様々な物資が集まり、被災者の元へ届けられた
また、水や長期保存が可能な食品などは、毛布とともに今後の災害に備え、各避難所へ配備された
5・6・7／物資の搬入・搬出作業を行う高校生ボランティア



8・9・10／市民団体の主催で行われた無料バザー
市民が持ち寄った食器や衣類が被災者に無料で提供された

11／無料バザーの会場となった湊浜通り生活館の外壁には津波の浸水の跡がくっきりと残っていた
（平成23年4月13日撮影）

12・13／平成23年3月27日に、日本経団連の「救援物資ホットライン便」として、日本郵船「邪馬台」が段ボール箱で約9,000個に相当する食品やマスクなどを積んで八戸港に入港した
救援物資はトラックに積み替えられ、八戸市内や岩手県、宮城県へ配送された

総合相談窓口

1・2・3／
はっちに開設された総合相談窓口
被災者からの相談や、り災証明書の発行申請などをワンストップで受け付けた

車両、船舶、コンテナの引揚げ

1／車両の引揚げの様子
（平成23年3月撮影　写真提供：八戸港湾・空港整備事務所）
2・3／船舶の引揚げの様子
（平成23年3月撮影　写真提供：八戸港湾・空港整備事務所）
4／コンテナの引揚げの様子
（平成23年4月撮影　写真提供：八戸港湾・空港整備事務所）

漁船解体

1～5／津波で打ち上げられた漁船の解体作業の様子
（平成23年4月、5月撮影）
6／解体された漁船が並ぶ臨港道路（平成23年6月撮影）

4

5

6

建物解体

1・2／市川地区の住宅解体の様子（平成23年6月撮影）
3・4／白浜の建物解体の様子（平成23年5月撮影）

3

4

1

新湊はますか保育園

2

3

4

1・2・3・4／
津波で大きな被害を受けた新湊はますか保育園の様子（平成23年3月13日撮影
写真提供：湊高台保育園）
5・6・7・8／
園庭の消毒作業や整備をする高校生ボランティア
ボランティアの協力もあり、新湊はますか保育園は保育を再開したが、園児の安全を確保するため、平成24年5月に高台に移転し、湊高台保育園と改称した（写真提供：湊高台保育園）

災害ごみ仮置場

1・2／東部終末処理場に搬入された災害ごみ（平成23年5月撮影）
3・4・5／旧食肉処理場跡地での土砂の搬入の様子（平成23年6月撮影）

6／東部終末処理場の上空からの様子（平成23年7月撮影　撮影協力：陸上自衛隊八戸駐屯地）
7・8・9・10／水産加工団地運動場に搬入された災害ごみ（平成23年6月撮影）

11・12・13／ポートアイランドに搬入された災害ごみ（平成23年6月撮影）

14／ポートアイランドの上空からの様子（平成23年7月撮影　撮影協力：陸上自衛隊八戸駐屯地）
15・16・17／
松館に搬入された災害ごみ（飼料・肥料）の様子
（平成23年6月撮影）

第一魚市場

1／上屋撤去前の第一魚市場
津波の被害を受けた第一魚市場は、老朽化も進んでいたため安全性の確保が困難として上屋が撤去されることとなった（平成23年11月23日撮影）
2／上屋解体中の様子（平成23年12月9日撮影）

3／上屋解体中の様子（平成24年1月20日撮影）
4／解体工事終了後の様子（平成24年3月撮影）
5／新設された膜構造上屋（平成24年3月撮影）